

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2015年2月18日

No.15

2015春闘 闘争開始！！

ベースアップ76,000円要求！

回答指定日3月20日(金)

～ 「2015年度新賃金要求の申し入れ(申第8号)」第1回交渉報告 ～

中央本部は、本日13時30分より「2015年度新賃金要求の申し入れ(申第8号)」を行いました。あわせて「諸要求改善に向けた申し入れ(申第9号)」と「安全確立・事故防止に向けた申し入れ(申第10号)」を会社に提出しました。

申し入れにあたって中央本部は、①今春闘は、これまで以上にベースアップにこだわった春闘として交渉を行っていく。②会社は「中期経営計画2016」に基づく経営改革の途上であるとはいえ、驚別や甲府基地の統廃合、新保全体制の効率化施策、働き度向上施策など、労働組合として最大限汗を流し、また手当等見直し施策では血をも流してきた。③一方、経営陣による経営努力について、その姿は一向に見えない。現に鉄道事業収入は未達の状況である。④職場ではJR貨物の将来展望に失望し退職していく若年社員が発生している。更に「15年連続ベースアップゼロ」の現実、消費増税や物価上昇、社会保障制度の切り下げ等によって組合員の可処分所得は低下し続け、生活は逼迫している。会社経営陣は経営改革を断行し、組合員に対して公正な成果配分を行い、要求に応えることが経営の責務である。⑤春闘交渉は、この間の労使関係に基づき誠実に行うこと。⑥2015年度の新賃金は、基本賃金一律6,000円引き上げを要求する。回答指定日は3月20日とするので誠意ある回答を示すことを主張しました。

これに対して会社は、①新賃金要求・諸手当要求・安全に関する要求について申し入れを頂いた。これまでの労使関係に基づき回答指定日に回答していきたい。②組合がベースアップにこだわる根拠については承った。③将来展望について、平成28年度に鉄道事業部門の黒字化が直近の乗り越えるテーマである。その後経営自立や株式上場が出来る経営状況にするなど課題は山積している。貨物会社の将来展望については貴組合と議論を進めて行かなければならない。若年退職やベアゼロを良しとは思っていない。社員が報われることを基本に据えている。④しかし、おかれた状況は厳しく原資にも限りがある。提出された要求項目については真摯に交渉を行い、誠意ある回答を行いたいと見解を明らかにしました。

組合員の皆さん。2015春闘がスタートしました。今次春闘では、この間私たちが流した「血と汗」を還元させるため、何とせよベースアップを取りに行こうではありませんか！中央本部は、その最先頭で闘うことを明らかにして、第1回交渉報告とします。

次回、第2回交渉は2月25日(水)です。

以上